

# 延岡で交流深める 姉妹都市 福井県坂井市の児童

延岡市の姉妹都市、福井県坂井市から19日、坂井・のべおかジュニア交流隊」が来延し、20日までの2日間、延岡市の児童と交流を深めた。

訪れたのは、小学生男

延岡市の姉妹都市、福井県坂井市から19日、坂井・のべおかジュニア交流隊」が来延し、20日までの2日間、延岡市の児童と交流を深めた。

訪れたのは、小学生男

女20人と引率者4人。延岡入りした交流隊は、まず延岡市役所を訪問。山本副市長が「仲良く遊び、延岡の子ともたちこいっばい話をして、坂井市に帰ったら『こんな所だったよ』と伝えてほしい。

思いきり楽しんでください」と歓迎の言葉を述べた。

児童を代表して坂井市立雄島小6年の高野成彦さん(12)が「短い時間ですが、延岡市でしかつくることができない忘れ

られない夏休みの思い出を皆さんと一緒につくりたい」とあいさつ。児童らはそれぞれ楽しみにしていることに「キャンプファイア」「地びき網体験」などを挙げていた。

市役所講堂で行われた対面式では、延岡市の児童を代表して北方学園小6年の榎本寿理さん(12)が「延岡市に来てくれてありがとうございます。すぐな思い出をつくりながら、坂井市のことをたくさん教えてください」と歓迎。坂井市の児童を代表して、同市立東十郷小5年の振川晏果さん(11)が「延岡のことをもっと知りたいので、いろいろ教えてください。短い間ですが、楽しい夏休みの思い出をたくさんつくりましょう」とあいさつした。

交流隊と延岡市の児童は2日間、むかばき青少年自然の家でのキャンプファイアや須美江海水浴場での地びき網体験などで交流を深めた。

延岡市は、坂井市と新設合併する前の丸岡町と1979年10月に姉妹都市の盟約を結んでいた。延岡藩主だった有馬氏が1695(元禄8)年に丸岡城主となったのが縁。その後、2006年3月に丸岡町など4町が合併して坂井市が誕生。延岡市は同年11月に坂井市と改めて姉妹都市の盟約を交わしている。



延岡市を訪れた「坂井・のべおかジュニア交流隊」の児童ら(19日、延岡市役所)





稽古に励むドイツの選手と延岡学園高柔道部 (19日午前、延岡市民体育館)

# 道柔U-18 27日まで延岡合宿中 ドイツ男子柔道選手、旭化成と稽古

ドイツ柔道連盟が27日「行っている。両者は、来まで、延岡市で合宿を一年の東京五輪・パブリン

ビックのホストタウン関係にあり、延岡合宿は通算4回目。今回は男子U-18(18歳以下)代表が訪れ、市内の高校生らを相手に稽古に励んでいる。

選手19人と監督・コーチらスタッフの計23人が14日に延岡入り。県むかばき青少年自然の家(行藤町)を宿舎とし、市民体育館などでレベルアップを図っている。練習には延岡学園を中心に市内外の強豪高校が協力しているほか、旭化成柔道部も胸を貸し世界レベルを教えた。  
19日午前中は、投げる

までの過程動作を繰り返す「打ち込み」や、互いに組み合せて技を掛け合う「乱取り」が主な練習メニュー。選手は精神的に取り組み、会場には大きな声も響いていた。

選手はドイツ国内大会のメタリストばかり。73キ級優勝のノアック・ゲレットさん(17)は「とても大変で疲れているが、勉強になることが多い。例えばドイツは上半身の柔道だが、日本人は

下半身。内股など投げ技を習得して帰りたい」と意欲的。

合宿期間中は、市内のイベントに積極的に参加するなど地域の人たちと

の交流も楽しんでいる。ノアックさんは「延岡はまちがきれいで、人もすごく親切」と初めての日本、延岡を満喫し、好印象を持ったようだった。連日相手を務めている延岡学園高柔道部の吉野

天成主将(3年)は「ドイツの選手は力が強くて体幹がしっかりしている印象。僕たちにとっても貴重な機会になるので、ここで得たものを自分たちの練習に生かしていきたい」と話していた。